

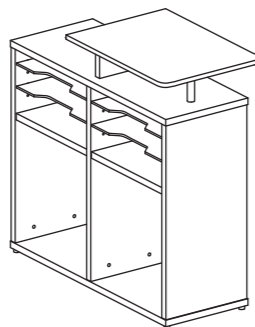
30min 組立の目安
ローカウンターⅡ用 サイドテーブル 組立説明書
 RFLC2-ST-7131DM (NJ, WH)

組立て方がわからない?
 お手入れに困ったら?

R.F.YAMAKAWA FAQ 検索



ローカウンターⅡ用 サイドテーブルは
 単体ではご使用になれません。



アジャスターを
 伸ばす 縮める
 床に接地していないアジャスター
 を回して水平になるように調整し、
 がたつかないようにしてください。

部材一覧

※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や
 不具合があった場合は配送いたします。電話にて部材名をお伝えください。

Ⓐ 天板(上) ×1 		Ⓑ 天板(下) ×1 		Ⓒ 底板 ×1 	
Ⓓ 左側板 ×1 			Ⓔ 右側板 ×1 		
Ⓕ 帆立板(下) ×1 		Ⓖ 背板 ×2 		Ⓗ 固定棚板 ×2 エッジの貼られていない小口が後ろ 	
Ⓘ 帆立板(上) ×1 	⓵ 可動棚板 ×4 	⓷ 支柱 ×1 	Ⓛ ジョイントシャフト ×24 <p>①ジョイントシャフトには右図の3種類(1)~(3)がございますが、全て互換性を有しており機能に違いはありません。</p>		
Ⓜ 棚ダボ ×16 	Ⓝ 十字穴付きJねじ ×1 (M6 × 30) 30mm ①支柱に取付済 	Ⓞ 十字穴付きトラスねじ ×3 (M6 × 12) 12mm 	Ⓟ 十字穴付きトラスタッピングねじ ×2 (4 × 16) 16mm 	Ⓠ 穴隠しキャップ ×1 	Ⓡ アジャスター ×4

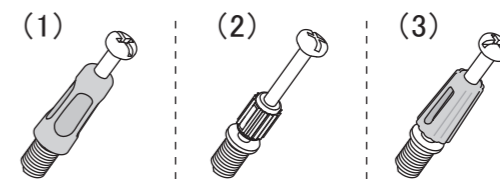
重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。
 以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。

商品と同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

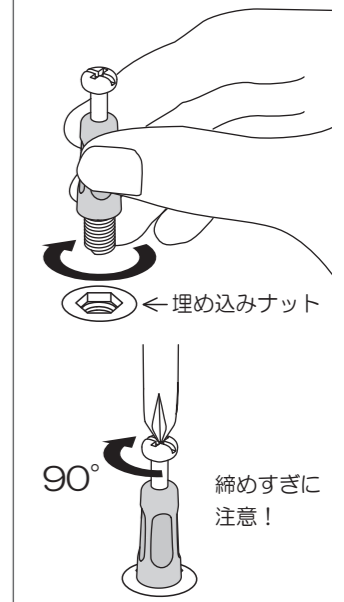
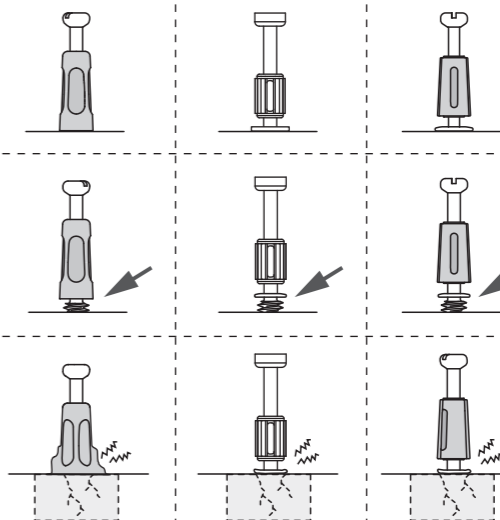


手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。

○ **適切な取り付け**
 ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。

✗ **最後まで締まっていない**
 抜けや歪みの原因となります。

✗ **締めすぎ**
 ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。



2. ジョイントシャフトの挿入

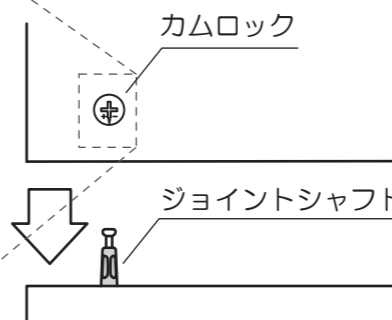
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには+又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。

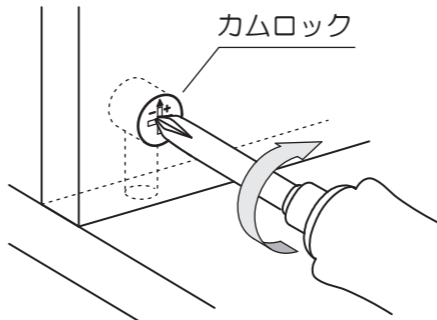


○ **適切な差し込み**

✗ **隙間が空いている**
 正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。
 回し始めから90°~180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。

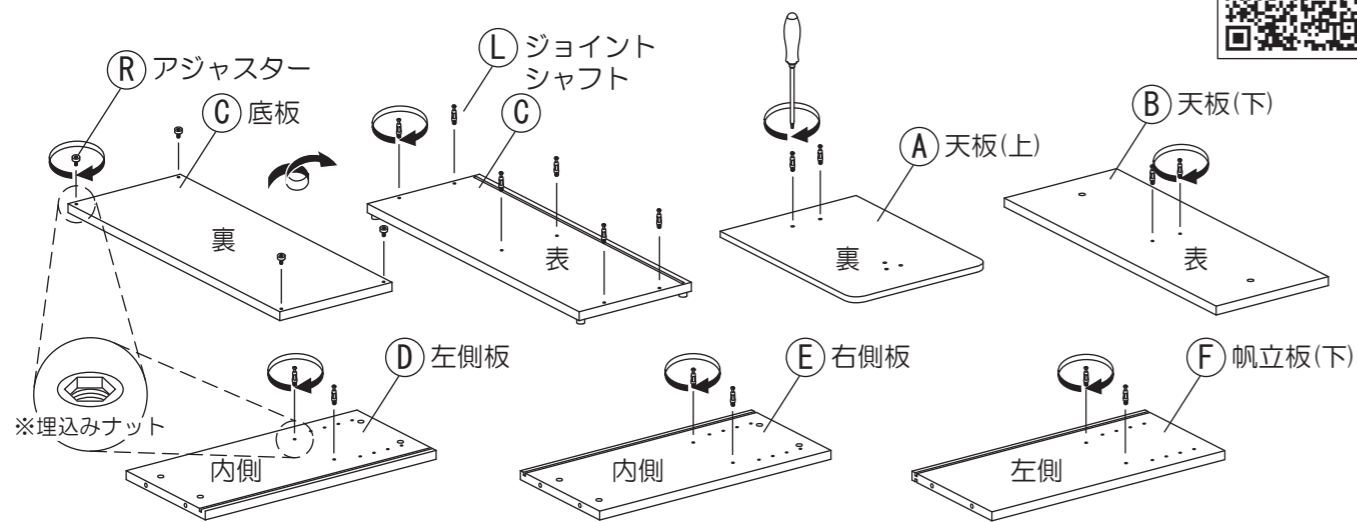


90°~180°まで
 ○ **正常な締結**

✗ **締めすぎ**
 無理に回すと破損の原因となります

1

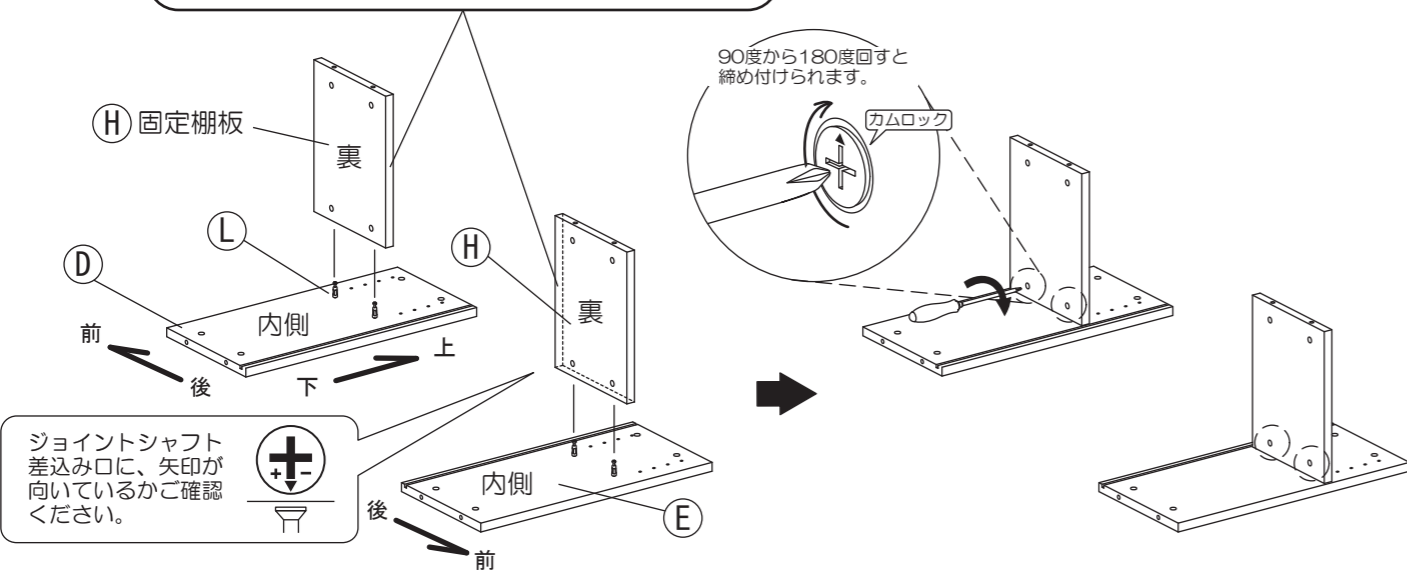
③底板の裏に①アジャスターを回し入れてください。
その後、④天板(上)・⑤天板(下)・⑥底板・⑦左側板・⑧右側板・⑨帆立板(下)の左側に⑩ジョイントシャフトを回し入れてください。
※アジャスター・ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



2

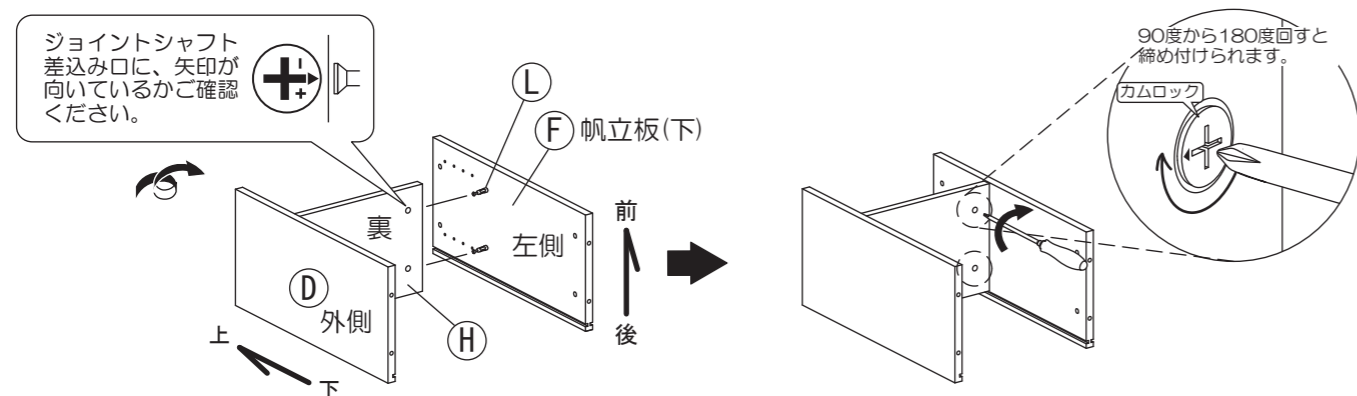
④左側板と⑤右側板の⑩ジョイントシャフトを⑪固定棚板の横穴に差し込んでください。
その後⑪固定棚板のカムロックを締め付けてください。
※⑪固定棚板には前後がありますのでご注意ください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

⑪固定棚板はエッジの貼られていない小口が後ろ



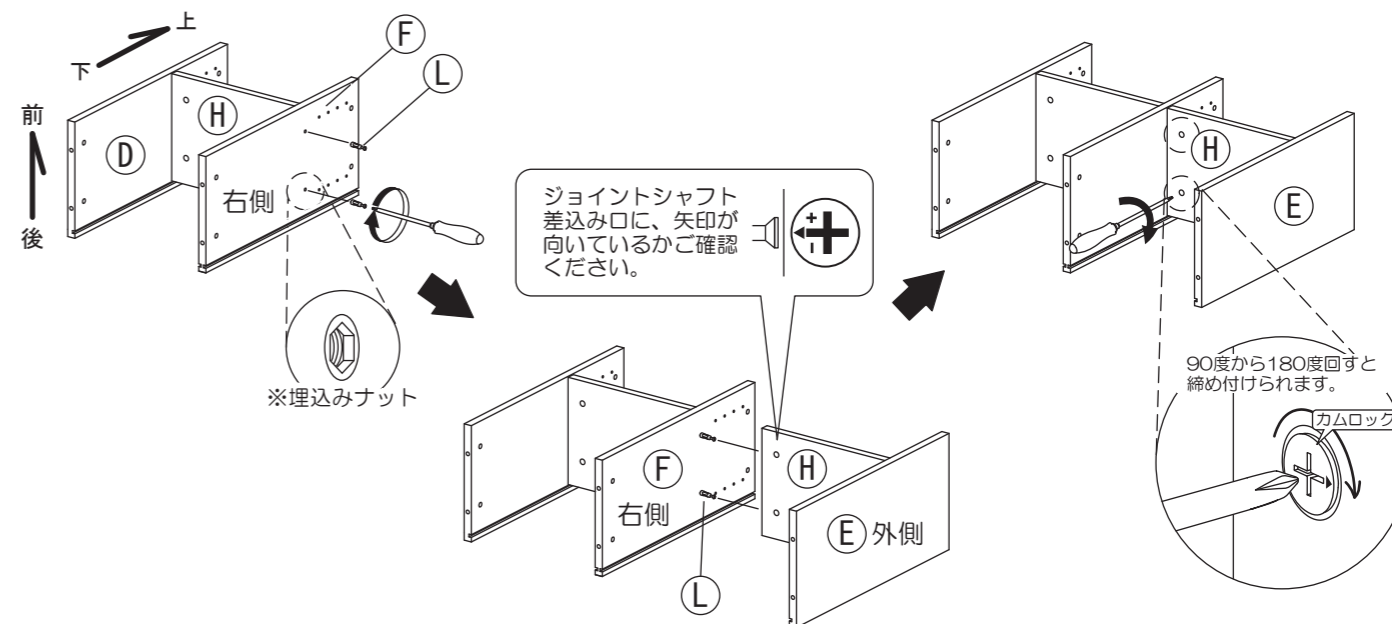
3

2で組み上げた④左側板を慎重に倒し、⑨帆立板(下)の左側にある⑩ジョイントシャフトを、⑪固定棚板の横穴に差し込みます。その後、⑪固定棚板のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



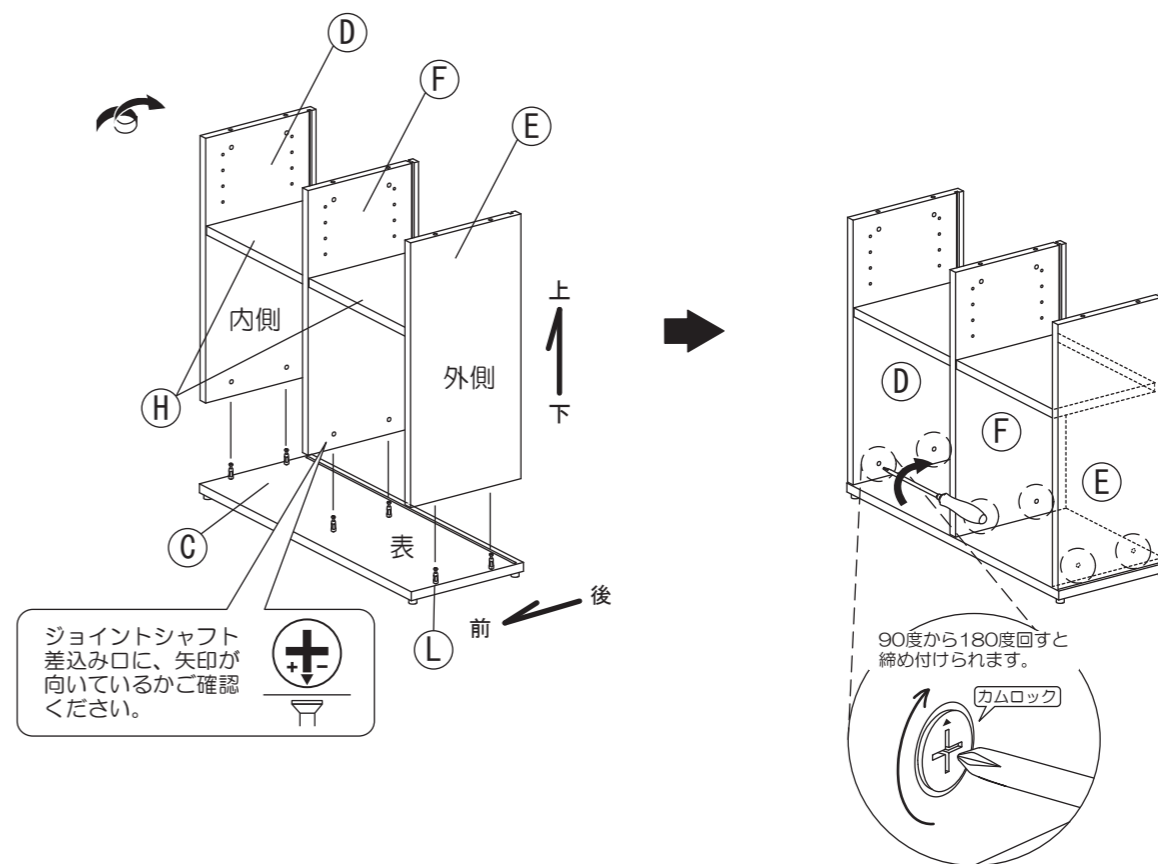
4

⑨帆立板(下)の右側に⑩ジョイントシャフトを回し入れてください。
その後、⑨帆立板(下)の右側の⑩ジョイントシャフトを2で⑤右側板に組み付けた⑪固定棚板の横穴に差し込み、⑪固定棚板のカムロックを締め付けてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

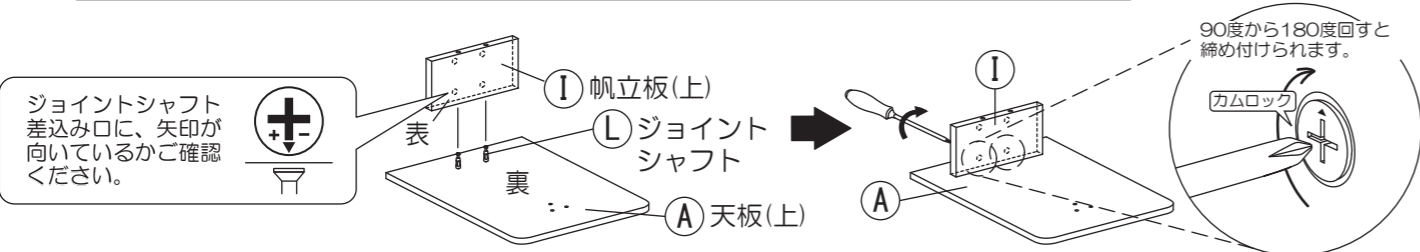


5

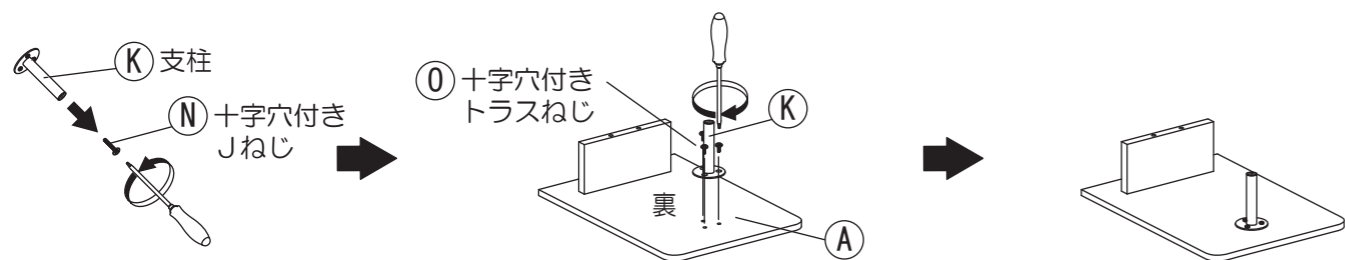
4で組み上げた物を2人以上で慎重に起こし、③底板の⑩ジョイントシャフトを④左側板・⑤右側板・⑨帆立板(下)の横穴に慎重に差し込みます。
その後、④左側板・⑤右側板・⑨帆立板(下)のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



- 6 ①天板(上)に取り付けた④ジョイントシャフトを①帆立板(上)の横穴に差し込んでください。その後、①帆立板(上)のカムロックを締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

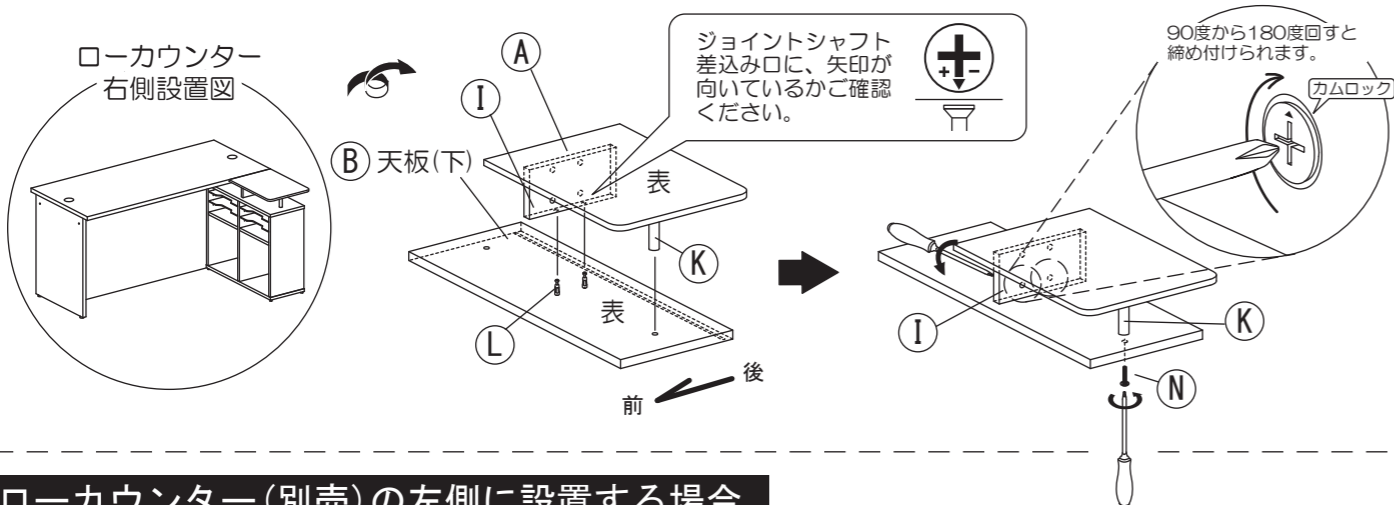


- 7 ④支柱に取り付け済みの⑤十字穴付きJねじをプラスドライバーを使って取り外します。その後、①天板(上)に④支柱をプラスドライバーを使って⑥十字穴付きトラスねじで組み付けてください。

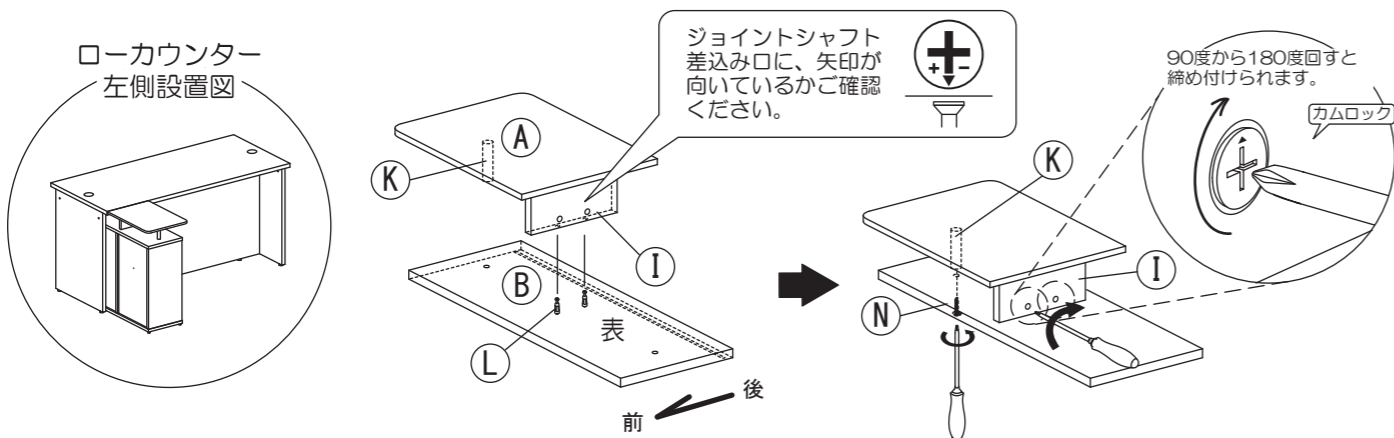


- 8 ②天板(下)の④ジョイントシャフトを7で組み付けた①帆立板(上)の横穴に差し込みます。その後①帆立板(上)のカムロックを締め付け、④支柱を②天板(下)裏からドライバーを使って⑤十字穴付きJねじで締め付けます。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

ローカウンター(別売)の右側に設置する場合

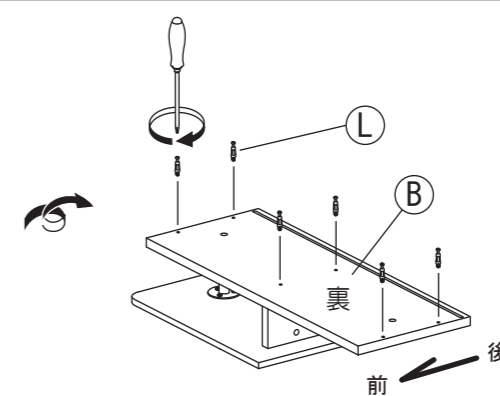


ローカウンター(別売)の左側に設置する場合

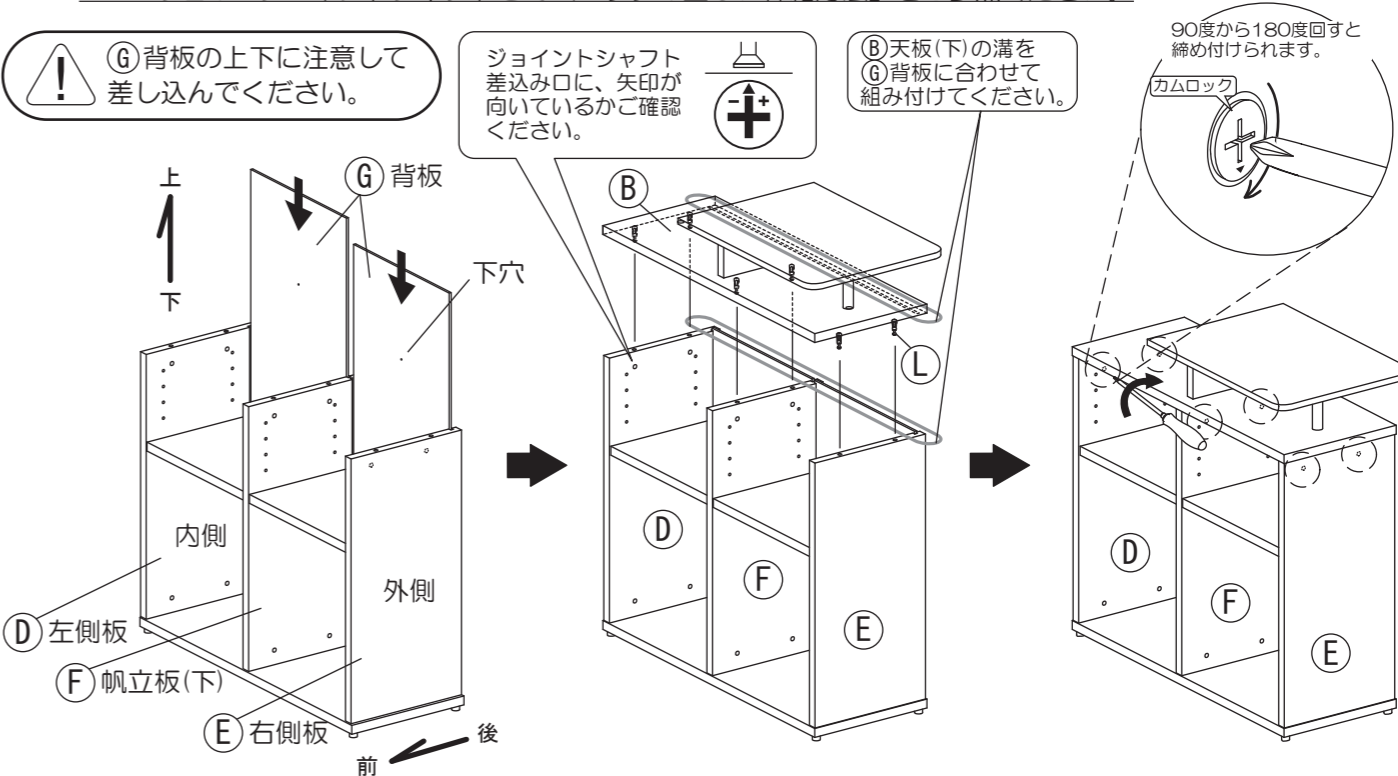


次工程からはローカウンター(別売)の右側に設置する場合の組立説明を行います。左側に設置する場合も同様に組み付けてください。

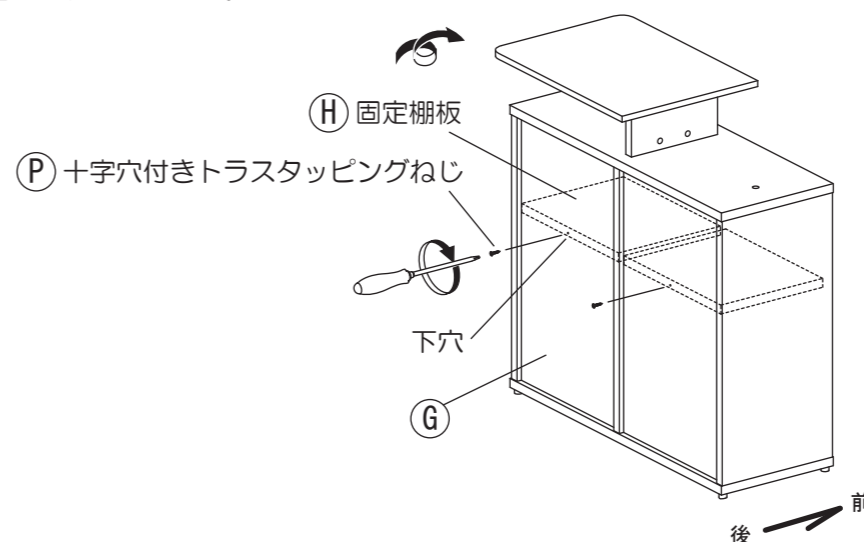
- 9 8で組み付けた物を慎重にひっくり返し、②天板(下)に④ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



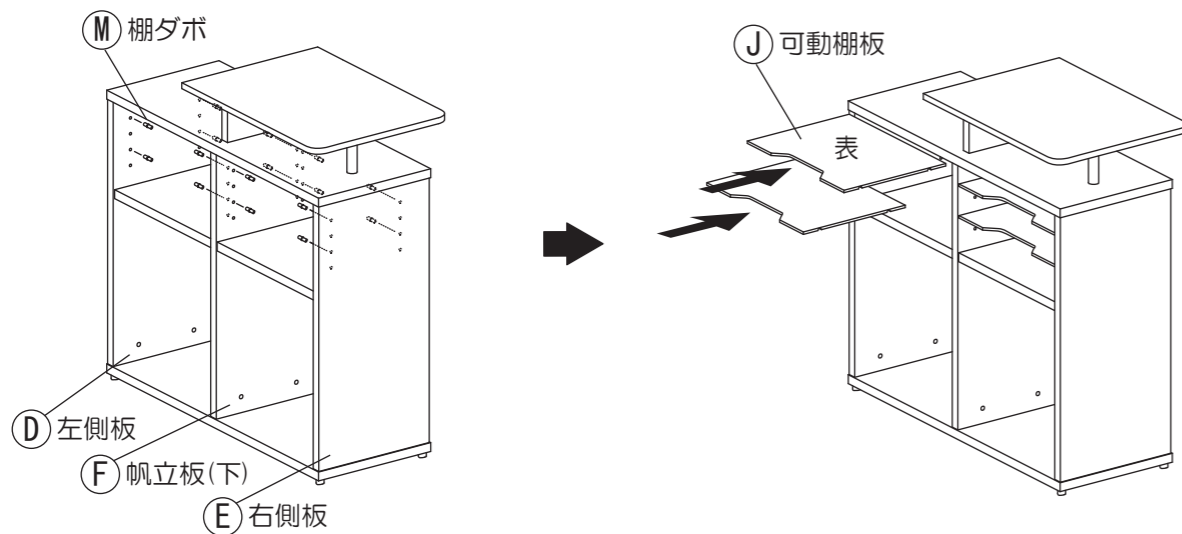
- 10 ③左側板・③右側板・③帆立板(下)の溝に沿って⑦背板をゆっくり差し込んでください。その後、9で組み上げた②天板(下)の④ジョイントシャフトを③左側板・③右側板・③帆立板(下)に差し込み、③左側板・③右側板・③帆立板(下)のカムロックを締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



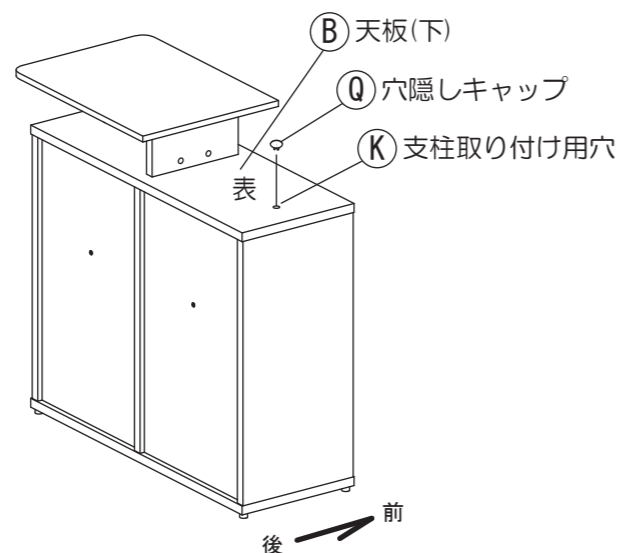
- 11 ⑦背板の下穴に合わせて⑧十字穴付きトラスタッピングねじを⑨固定棚板にプラスドライバーで回し入れてください。



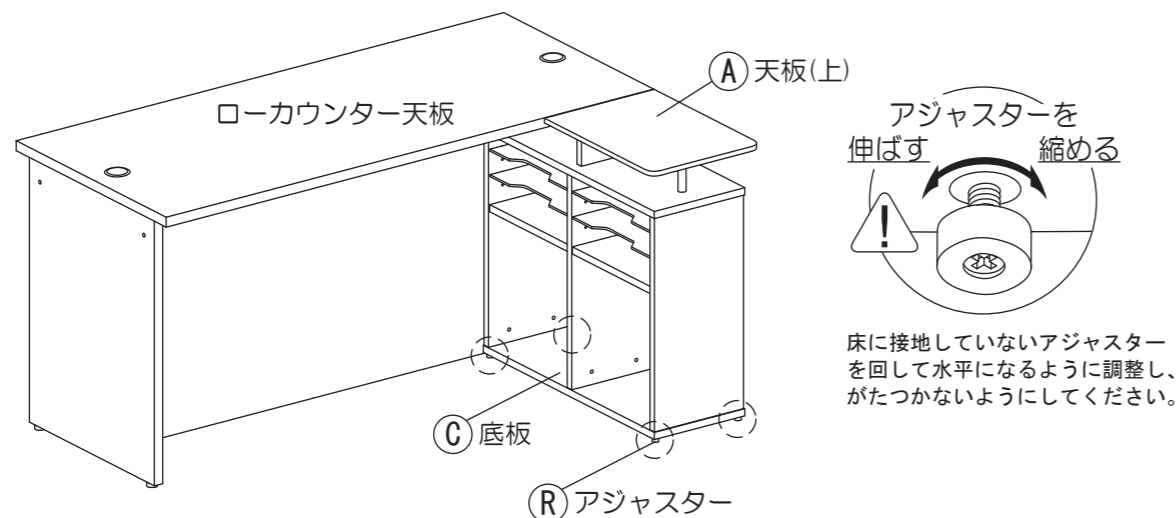
12 ①棚ダボを②左側板・③右側板・④帆立板(下)の棚ダボ穴のお好みの高さに差し込んでください。その後、①棚ダボに⑤可動棚板をのせてください。この時、⑤可動棚板の裏の溝を①棚ダボにはめ込むようにしてください。



13 ⑥穴隠しキャップを⑦天板(下)の⑧支柱取り付け用穴に差し込んでください。



14 ローカウンター(別売)に設置してください。その後、ローカウンター天板と⑨天板(上)が水平になるように⑩底板裏の⑪アジャスターを調整し、がたつかないようにしてください。



取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。またお読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。破損の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する可能性があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- 可動部に指を挟まないように気をつけてください。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所での使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲水をこぼした場合は放置せずすみやかに拭き取ってください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー、アルコール等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組立て方がわからない?お手入れに困ったら?

アールエフヤマカワ FAQ 検索



品質表示

外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
RFLC2-ST-7131DM (NJ, WH)	711.5	315	700
耐荷重 (均等荷重)			
天板	約15kg		
固定棚板	約10kg		
可動棚板	約2kg		
材質			
本体	合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)		
支柱	金属 (鋼)		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			

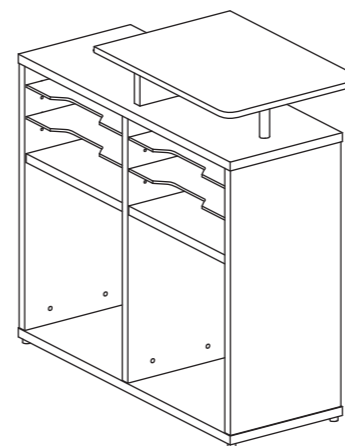
商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に長くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

チェック項目

- 品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。
- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- 全体にスキ間やガタつきはないか
…天板・側板・帆立板のカムロックが正常に締結されているかご確認ください。
- 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。



その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く) AM9:00~PM5:00 アール・エフ・ヤマカワ株式会社 お客様相談室	☎0120-204-208 FAX 059-256-5333
申込番号	
品名	ローカウンターII用 サイドテーブル
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	